

＜委員会基本方針・事業計画＞

委員会名	広報委員会		
委員長	古賀紀和		
副委員長	松尾幸樹・西村圭史		
運営幹事	中尾慎吾・栗原正行		
<p>【基本方針】</p> <p>55年という永きに亘り様々な世界情勢や国難に直面した中でも、たゆまなく行動し価値ある活動を展開してきた諸先輩方が築き上げられてきた、社団法人佐賀青年会議所の活動が地域社会や会員に十分に認知、理解されているとは言い難い現状にあります。近年、情報発信の方法として急速に普及したホームページ。(社)佐賀青年会議所でもこのホームページを利用し、地域社会はもちろん、全国へと情報を発信しています。今まで、ホームページの更新は写真情報整理と合わせて総務委員会が月1回程度のペースで行って来ました。しかしながら、ホームページを活用し事業報告で掲載していく過程において、事業に関する各委員会のコメント等が少なく、実施した委員会の想いや詳細な内容が発信できていない現状があります。ホームページは、佐賀青年会議所の窓口として、月間約4,000件のアクセス数があり、このアクセス数を減らすことなく、さらに増やしていくためにも、発信する情報の精査と情報量の増大等、充実したホームページの運用体制の確立が必要であると考えられます。</p> <p>本年度は、画像情報の整理や管理をすることで、会員が活用しやすいデジタルライブラリーの構築を行い、ホームページの内容を充実させます。そして、各種活動を地域社会へ積極的に情報発信するために、各種メディア等へのプレスリリースを行います。さらに、会員間の情報共有や、親密な関係構築に役立つソーシャルメディアであるFacebookの活用を推進します。Facebookは実名登録が推進され、信用性が高い一方で、実名をネット上に公表するリスクも伴い、これまで以上に情報発信内容に注意が必要です。そこで当委員会では(社)佐賀青年会議所のソーシャルメディアの利用に関するガイドラインを設けます。これらの媒体を適切に利用して、会員間の交流を促進し、会員のモチベーションの向上から動員へと繋げられるような基盤を作ります。</p> <p>このようにして広報委員会が情報発信やその促進を継続する事で、各種活動を通して地域貢献を行っている事を多くの方々に知っていただきます。そして、市民の意識変革を行い(社)佐賀青年会議所が地域社会で認知、理解され大きな力、存在となりえるような広報を目指します。</p>			
<p>【事業計画】</p>			
番号	事業	事業の概要	実施予定日
1	LOM内外への情報発信	ホームページ運用	通年
2	LOM外への情報発信	各種メディア・プレスリリースへの迅速な対応及び作成	通年
3	画像情報の整理・管理	デジタルライブラリーの構築と運営方法の構築	通年
4	各種メディアによる情報発信	各種メディアによる情報発信の企画・運用	通年
5	京都会議	参加者への支援	1月19日～22日
6	献血	献血の案内	通年
7	卒業生を送る会	卒業生を送る会の企画・運営	12月
8	会員拡大	拡大目標4名(40名)	通年